

整腸剤について

整腸剤は腸内で増殖して、悪玉菌が増殖しにくい環境を作ります。その結果、腸内環境が正常に保たることで、便秘や下痢を予防・改善、免疫力の向上にも役立ちます。

当院の採用にはビオフェルミン配合散、ミヤBM細粒がありますが、今回は処方頻度の高いミヤBM細粒について紹介します。

～ミヤBM細粒の特徴・作用～

～芽胞～

一部の菌が作る極めて耐久性の高い細胞構造。ビオフェルミンはこの構造を持ちません

芽胞に包まれていることで、胃酸や胆汁酸及び抗生物質の攻撃から守られ、大腸へ生きたまま到達し増殖する

芽胞形成

腸内細菌のバランス異常による諸症状の改善

腸内細菌に対する作用

～酪酸～

短鎖脂肪酸に分類され、腸内細菌の産生する脂肪酸の中でも働き者

酪酸の産生

- ・水分吸収調整作用
- ・腸管細胞の増殖作用
- ・抗炎症・抗潰瘍

- ・腸内細菌の調節作用
- ・消化管内の悪玉菌に対する拮抗作用

＊拮抗作用：同じ栄養の好みを持つ悪玉菌と腸管内で生育場所（陣地）の取り合いをする
入院中の抗菌薬に伴い引き起こされる、下痢（20～30%）や偽膜性腸炎（90%）の原因となる、

クロストリジウム・ディフィシル（*Clostridium difficile*） に対して効果を示す。

～まとめ～

ミヤBM細粒は、単に便秘や下痢のときに処方されるケースもありますが、CD（*Clostridium difficile*）陽性となった場合にも抗生物質と一緒に開始となるケースもあります。原因菌に対して拮抗作用をもち、芽胞を形成することで抗生物質存在下でもその効果を十分に発揮できます。

NST 介入件数はコチラ！
（延人数）



	3 東	4 東	4 南	5 東	5 南	ICU	計
6 月	3	9	10	9	2	1	34
7 月	0	14	8	3	2	0	27
8 月	0	12	11	6	1	1	31